

abさんご

2026.3.13金-3.15日

旧平櫛田中邸 (東京・上野桜木)

Denchu Hirakuchi House and Atelier, Ueno-Sakuragi, Tokyo

現代小説『abさんご』×現代演劇×コンテンポラリーダンス×能

令和7年度台東区芸術文化支援制度対象企画

西尾佳織+木村愛子 共同企画

Kaori NISHIO + Aiko KIMURA ab sango

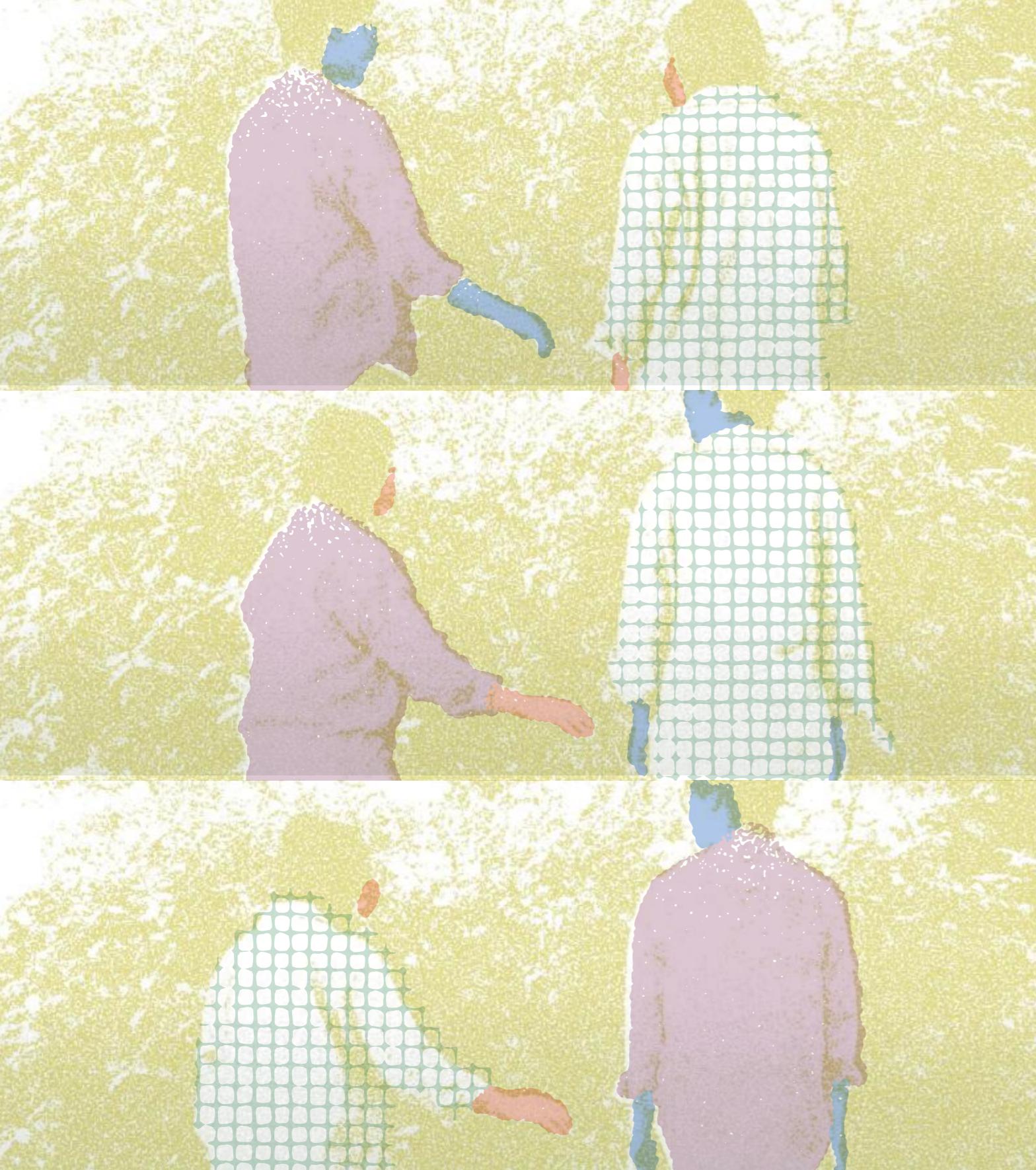
原作=黒田夏子『abさんご』 構成=西尾佳織 烏

(文春文庫) 演出=西尾佳織 公園

出演=木村愛子 Eine Feige, 清水寛二 銚仙, 増田美佳

ドラマトゥルク=小田幸子, 山本浩貴 いぬのせなか座

Original work by Natsuko KURODA directed by Kaori NISHIO
performed by Aiko KIMURA, Kanji SHIMIZU, Mika MASUDA dramaturge Sachiko ODA, Hiroki YAMAMOTO



abさんご

2026.3.13金-3.15日

旧平櫛田中邸 (東京・上野桜木)

Denchu Hirakuchi House and Atelier, Ueno-Sakuragi, Tokyo

現代小説『abさんご』×現代演劇×コンテンポラリーダンス×能

令和7年度台東区芸術文化支援制度対象企画

西尾佳織+木村愛子 共同企画

Kaori NISHIO + Aiko KIMURA ab sango

Original work by Natsuko KURODA directed by Kaori NISHIO
performed by Aiko KIMURA, Kanji SHIMIZU, Mika MASUDA dramaturge Sachiko ODA, Hiroki YAMAMOTO

出来事が 先にある。

声が、出来事の記憶を語り直す。その道程で、

〈わたし〉が経験したときには受け入れられなかった出来事が、
ちがった形で引き受けられて、

〈わたし〉だと思っていたものがほどかれ、

新しい〈わたし〉が生成される。

黒田夏子の芥川賞受賞作『abさんご』を、現代演劇の劇作家・演出家である西尾佳織が、コンテンポラリーダンスのダンサー・振付家である木村愛子と増田美佳、そして銚仙会に所属しながら幅広いフィールドで活躍する能役者の清水寛二ら3人の出演者とともに、舞台作品として立ち上げます。ドラマトゥルクには、能狂言研究家の小田幸子と、小説家、批評家、編集者、デザイナーでいぬのせなか座主宰の山本浩貴。

『abさんご』は全15編のエピソードからなる小説ですが、今回取り上げるのは〈解釈〉の一編です。その短いテキストを上演中で3巡し、同じフレーズをくり返しながら少しづつ異なる方法で上演していくことで、人生の分岐点をふり返り、選んだ道と選ばなかった道を見つめ直す『abさんご』の世界を現出させます。

今回の上演を皮切りに、今後さらに他のエピソードも上演していく予定です。

*本企画では、上演前にまず30分ほどドラマトゥルクの山本浩貴によるファシリテーションで、お客様に黒田夏子『abさんご』(解釈)のテキスト自体を味わっていただきます。そして小説のテキストを踏ました状態で、45分ほどの上演をご鑑賞いただきます。

●日時 受付開始・開場は開演の30分前／テキストを味わう時間30分と、上演時間45分の計1時間15分予定

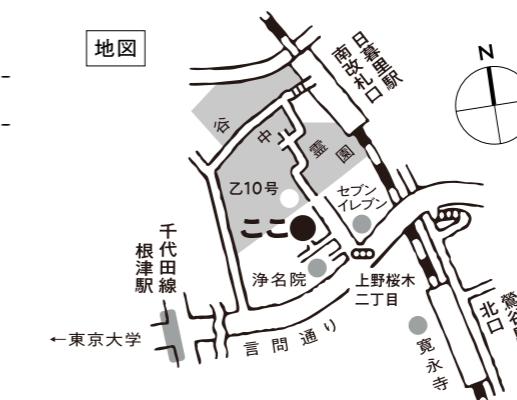
3.13 金 12:00-

3.14 土 12:00- 15:00-

3.15 日 12:00- 15:00-



地図



●アクセス

旧平櫛田中邸

東京都台東区上野桜木2-20-3

JR日暮里駅・鶯谷駅から徒歩10分

千代田線根津駅徒歩16分

●チケット取扱い

各回25席・2,500円 12月15日(月) 10:00発売

ご予約はPeatixからお願いします(事前清算のみ)→
<https://absango-project.peatix.com>

●お問い合わせ ab sango.project@gmail.com

鳥公園HP bird-park.com/works/absango

木村愛子HP kimuraaiko.com



演出助手=荻庭真 空間構成=中村友美 宣伝美術=鈴木哲生 運営=青田ア香里 進行・広報管理=奥田安奈,五藤真
主催=西尾佳織(鳥公園),木村愛子(Eine Feige) 企画協力=文藝春秋

助成=台東区芸術文化支援制度

公益財団法人セゾン文化財団

台東区芸術文化支援制度 公益財団法人セゾン文化財団